

2019年5月29日

最近ある宗教団体の勧誘者と話をしている。特にそうした宗教団体に加わるつもりはない旨の意思表示をさせていただいているが、それでもいいということで何度かお会いしている。

私も聖書がどんなことを言っているのかを宗教というより、一つの考え方としてとらえているため、参考とさせていただいている。私が高校生時代から考えてきたことを披露して意見を伺いたいと思っており、以下のようなことを昔の雑記帳より引き出して整理してみた。テーマは「私の考える世界認識」ということで、高校生のころから何で人は戦争をしてしまうのだろうかと疑問に思っていた。多分対立する2国の個人は皆が戦争は無意味だと思っているのだろう。それぞれの国の人がお互いにもっと理解しあうことはできないのだろうかと思ったことが、私の考え方の発端となっている。では世界の認識というものを私はどう考えているのかを以下に示そう。まず世界の構造というものを下記の図1, 2, 3に示す。これは私が考えている世界観でもある。図1, 2, 3に分類の1例を示したが分類はもう少し細かく分けてもよい。

この構造はわれわれの意識が以下に示すレベルわけができ、レベルは下がるにつれ我々の深層意識に到達すると考える。

一番最下層には図3に示すサムシンググレートと一般に言われるような我々の考えでは計り知れない何かがあると考え。よく言われる神とか無意識の領域である。

例えば図1に示すように、私と貴方。これは全く個別の存在であり、基本的には同じ状態になれない。すなわち分かり合えない、理解できない存在である。しかし分かり合うことはできると考える。このためにはお互いがレベルを一段下げて共通する母体の中で考える必要がある。個々の例では同じ日本人同士、ということだ。逆にこのレベルまで意識を深めないと、分かり合うことなど不可能だ。この共通したレベルで理解し合わないとは何時迄たっても喧嘩ということになる。

今世界中で起きている民族紛争は、いわゆる同じ人間じゃないか！というレベルまで意識を深めないことにはこの紛争は収まらない。この共通意識まで意識を深めたところで、協調して暮らすことを考える必要がある。

日本人は昔から自然との交歓を行ってきたと言われる。こうしたことも意識レベルを更に深くすることにより成り立つ。小鳥の気持ちがわかる、木と交歓し合える。路上の石とも話が出来る。こうしたことは現実可能なのだと思う。やはりこれらと共通の意識状態。例えば図2で示すレベルIVまたはレベルVまで意識レベルを深めることが必要だ。これはなかなか難しいことで、昔のシャーマンなどは可能であったのかもしれない。

我々は図3に示す最下層のレベル、神とよんだり、私のような無心論者でもサムシンググレートとして、最終的に何か偉大なものの存在を持ち出さなければならぬ状態がある。このことは逆に我々は全てこのレベルで繋がっていると理解している。

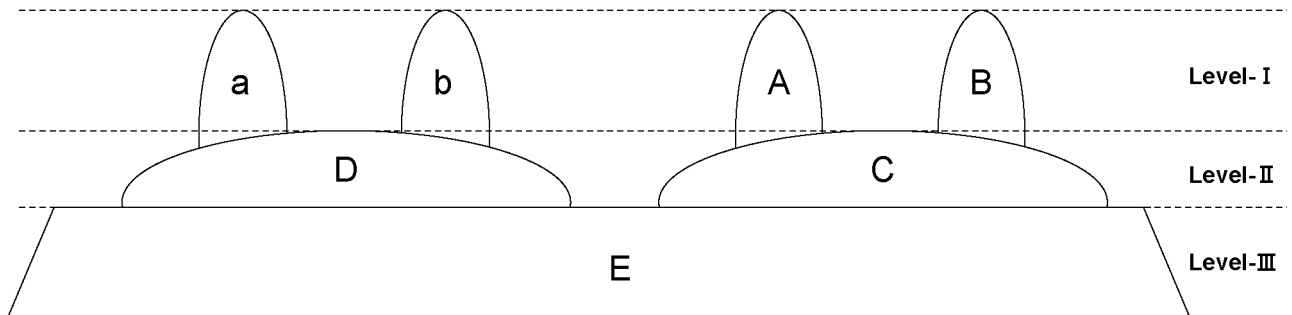
この世界の構造は概念的なものではない。いわば物理的に存在しているものと考え、われわれの行動原理を支配している構造と理解する。

私が考えるテレパシー通信もこうした構造の上に成り立っており、他の人とのテレパシー通信はそれぞれの共通意識を介して行われると考えている。そのため旨く共通意識に到達できるかが、テレパシーが使えるかどうかを決めているのだろう。私はこれをもっと一般的に可能にする手段を見つけるための開発をしたいと考える。

以上は下図の世界観を空間的に説明したが、この世界は時間的にも繋がっていると考えている。すなわちよく言われるリモートビューイングで未来、過去の様子も見られると言うのも、このような世界構造が時間軸も含めて存在すると考える。勿論物理的な意味でである。

以上のような物理的な意味を持った世界認識を私は持っている。これを元に、社会的、科学的な課題を考えたいと考えている。超能力も含めこの考え方を、深めたいと思う。こうした考え方は私が学生の頃から持っているイメージであるが、こうした考えが、単に概念、考え方というより、自然の物理的な構造と考えている。

世界の構造例 1



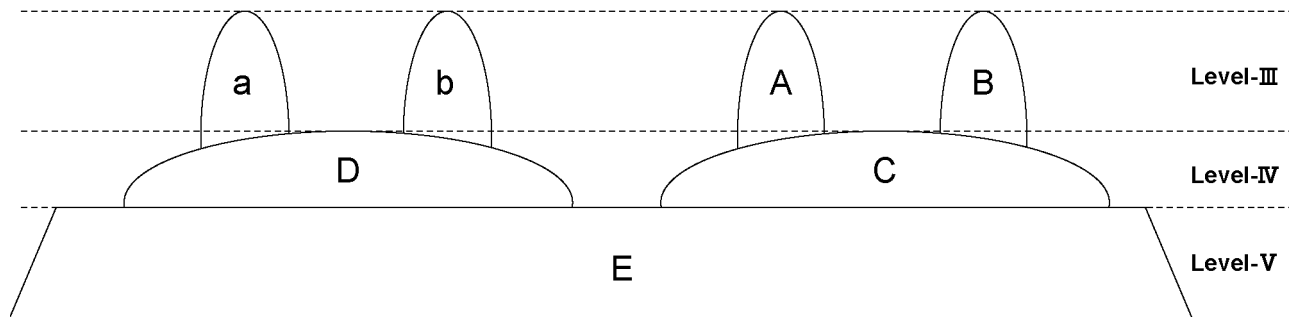
Level-I 個人 A : 私 B : 貴方 a : ボブ b : メアリー

Level-II 国 C : 日本 D : アメリカ

Level-III E : 人

注 上記は何れの分類も1例。Level は例えばIとIIの間に男女の分類が入っても良い。CとDは他の国であっても良い。必要に応じて決めればよく、要は上記のような分類とレベルわけで考えると世界の構造がわかりやすい。

世界の構造例 2



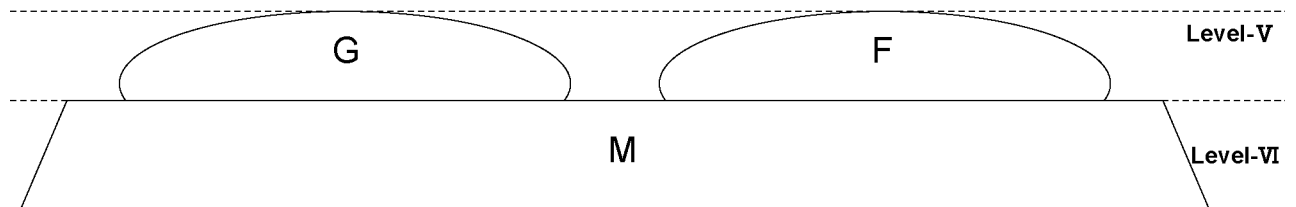
Level-III 個人 A : 人 B : 動物 a : 無機物 b : 有機物

Level-IV 国 C : 生物 D : 非生物

Level-V E : 物質界

注 上記は何れの分類も1例。Level は例えば a、b のそれぞれの上に石ころ砂が来ても良い。a、b は有形物、無形物であっても良い。C はいわゆる生命体、D は非生命体であっても良い。水、風のような現象も、a または b のうえに入るかも知れない。必要に応じて決めればよく、要は上記のような分類とレベルわけで考えると世界の構造がわかりやすい。

世界の構造例 3



Level-V F : 物質界 G : 非物質界

Level-VI M : Something Grate、神、無意識 等

注 上記は何れの分類も1例。 G : 非物質界(靈魂などのような目に見えない意識) M : ベースとなるような世界。宗教者は神とも言う。心理学者は集合意識、無意識とも言う。要は科学的に決められない何かがあると思われる。